

もくじ	
えび人 vol.73	2
今号の表紙	3
2月16日～3月15日は	
確定申告期間	4
市民の広場	9
文化会館・市民ギャラリー	10
相談	11
図書館	12
子育て・HUGHUG赤ちゃん	14

**「広報えびな」の共通マークとルール**

日・日・日にち 期間 時間 場所 対象 定員  
 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期  
 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ  
 申し込み 予約制 祝日を除く 休み

高齢者対象の教室など えびな健康マイレージ対象

市外局番…省略している場合はすべて「046」です  
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」で届きます  
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。  
 ご協力ありがとうございました。

題字

えびな



小田急線の鉄橋がすきです。  
おおめきゆうと  
 杉久保小学校 大貫結都さん(10歳)

写真

タイトル：未来へ  
 撮影場所：北部公園付近  
 撮影者：柏ヶ谷在住  
 菅原節子さん



編集雑記

えび人の取材をすると、えび人の考え方や行動力に心を動かされ、ファンになったような気持ちになります。今号の市橋さんは、取材中にも多くの人から声をかけられていて、地域から愛されている人柄を感じました。私もいつの日かえび人のように懐が深くなりたくです。(け)



(写真上)自ら考案したコースで趣味のターゲットバードゴルフに興じる  
 (写真中)企画した体操イベント。一緒に動いて参加者との交流を楽しむ  
 (写真下)看板の文字は市橋さんが一文字ずつ心を込めて彫った



理想の地域づくりのためには大切な活動です。「声を掛け合って笑いが生まれるからつながりを感じるんじゃないかな。企画だけして独りよがり満足するのは好きじゃない。同じ目線で一緒に楽しんで、みんなの笑い声を聞けるのが一番の幸せ」

自らがつながりを体現し、みんなの先頭に立つて活動する市橋さん。あふれる熱意を胸に、地域のキャプテンとして進みます。

「つながりができると困ったときの助けになるから」と、持ち前の発想力と創造力を生かし、高齢者の楽しみが生まれるコミュニケーションづくりに努める市橋さん。高齢者を自宅からサロンへ送迎する移動支援も立ち上げました。「高齢になればなるほど遠出の機会は少なくなるからね。それなら近くに楽しみが生まれるようにしよう。足腰が弱ってきても、閉じこもりがちでも、とにかくみんなが楽しめるように」と、張り切っています。

サロンのイベント企画も市橋さんの

目指すは、みんなで  
 楽しく暮らせるまち

**今月のえび人**

いちほしてるお  
 市橋輝朗さん  
 (浜田町在住・84歳)

浜田地区社協会長、ゆめクラブ浜友会会長。浜田自治会の会長の時、現在の活動拠点の自治会館建て替えにも尽力。モットーは「率先垂範」「有言実行」。